

【協働・行財政・人権部会】庁内・審議会合同部会 議事録（要旨）

開催日・出席者等

開 催 日 時 令和7年7月8日（火） 14時15分から15時30分まで
場 所 山ノ内町文化センター 3階ホール
出 席 者 審議会部会員3名、庁内部会員11名、事務局2名 計16名

協議状況（会議事項）

第1節 みんなが活躍する協働の郷土づくり（第6章の該当部分も併せて庁内策定委員会専門部会から説明、以下同じ）

1. コミュニティ

【審議会1】

- ① 若者ミライ会議のメンバーはどのように選んだのか。
- ② 若者ミライ会議で出た意見はどの程度反映させるのか。
- ③ 町長と語る会への若者の参加はどれくらいあったのか。

【庁内1】

- ① こちらで選んだというのではなく、広報を見たりして応募いただいた。
2回目の外国人については社会福祉協議会などを通じて声をかけた。
- ② アンケートの補完ということで行ったもので、結果を各担当で確認し後期計画に反映させていければと思っている。
- ③ 人数については、正確な数字はすぐに出てこないため、後日回答したい。

2. 町民参加

【審議会2】

今後外国人の定住が増えれば、このような会議にも外国の方が出席してくるようになるのではないかと。

アンケートを見ると、外国人は観光的な部分への意見が多く、日本人は政策的な部分がお感ずる。

白馬では、外国人だけで集まっている組織があり、問題が起きた場合そこで対策を考え行政に提案している。それがよいかどうかはわからないが、コミュニティの問題を解決するうえで今後は外国人の目線も必要になってくる。そのあたりについて町はどう考えているかお聞きしたい。

【庁内2】

外国人とコミュニティの関係については、外国人にどのようにコミュニティにかかわってもらうか、コミュニティとしてどう進めていくか、区長会の中でも課題になっている。

今年度、外国人のコミュニティの関係も視察予定。引き続き検討を進めていきたい。

情報発信では、広報の多言語化などどこまでやるかは別にして課題として認識している。
社会福祉協議会などとも相談しながら進めていきたい。

【審議会 2-2】

外国人の人数はどれくらいいるのか。増えているのか。

【庁内 2-2】

外国人の住民は増えている。町の特性として、冬の機関に季節労働者で外国人が増えるところもあるが、300～400 人程度いらっしゃる。

【審議会 2-2】

季節労働者は帰ってしまうのか。

【庁内 2-2】

全員が帰ってしまうわけではなく、何人かはそのまま住んでくれている。

第2節 健全な財政運営と確実な行政経営の郷土づくり

2. 行財政運営

【審議会 3】

「いかない役場」について電子化は必要であるが、それをどう使うか使える人を増やすかが大事。隣の韓国は、年長を敬う文化であり、高齢者が困っていると、知らない人でも若者がすぐ教えてくれる。そういったことで、高齢者も電子申請なんかを使えるようになっていく。

日本でそれができるわけではないが、近くの人がすぐに教えてくれるということであれば、だんだん覚えていくのではないかな。

【審議会 3】

スマホの普及については、スマホ教室を行っているが、先進地の取り組みも参考に町も力を入れていきたい。

【審議会 3-2】

納税されてない方というのは多いのか。県に依頼している人も多いのか。

町で一番大きい額はどのくらいになるのか。

【庁内 3-2】

県へ依頼することができる枠が 16 件あるが、滞納が多い方から上限までお願いしている。それ以下の人たちについては町で対応している。1000 万単位での滞納がある事業者もいる。

【審議会 3-2】

人事評価の見直しはどのようなになっているか。

【庁内 3-3】

人事評価については、適材適所や人員配置に生かせるような形にしていきたいと考えている。
具体的には進んでいないが、検討しているところ。

第3節 人と人が尊重し合う絆の郷土づくり

質問なし

以上